





## 2. 調査結果の概要

### (1) 降雨量

年間降雨量は衛生試験所 1970 mm, 千石荘 2564 mmで平年よりやや多かった。

### (2) pH

年間加重平均値で衛生試験所 pH 4.87, 千石荘 pH 4.81であり, pHの年間変動は、春季に高くなる傾向を示した。

2 地点における pH の月別加重平均、年加重平均および月別加重平均値のグラフを表 2, 図 1 に示した。

表 2 pH 月別加重平均・年加重平均

衛生試験所屋上 '93 4月～'94 3月

月	加重平均	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4月	4.96	5.06	6.38	5.38	4.90	
5月	4.71	5.20	4.19	4.63	4.56	5.46
6月	4.97	5.45	4.99	4.92	4.96	
7月	4.90	4.90	4.49	4.74	4.91	5.14
8月	5.07	4.78	5.22	5.01	5.75	
9月	4.67	4.58	4.61	5.02	5.05	
10月	4.77	4.46	6.19	4.95	5.22	
11月	4.75	5.62	4.44	4.91	4.49	5.00
12月	4.95	5.36	5.31	4.65	5.53	
1月	4.69	5.22	4.81	4.96	4.36	5.07
2月	5.01	4.96	5.39	4.84	5.52	
3月	5.75	6.14	5.55	6.46	6.17	

※年加重平均 pH 4.87 年間降雨量 1970 mm

千石荘屋上 '93 4月～'94 3月

月	加重平均	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4月	5.32	4.41	6.46	5.31	6.91	
5月	4.62	5.41	4.30	4.56	4.41	4.43
6月	4.81	4.79	4.68	4.80	4.86	
7月	5.07	5.04	5.01	4.81	4.92	5.28
8月	5.13	4.69	5.06	5.24	4.95	
9月	4.81	4.81	4.55	5.03	4.86	
10月	4.76	4.57	4.97	5.64	5.28	
11月	4.59	4.69	4.32	4.76	4.48	4.41
12月	4.60	4.73	4.99	4.43	4.64	
1月	4.40	4.40	4.69	4.41	4.34	4.67
2月	4.78	4.56	5.73	4.65	欠測	
3月	5.05	5.39	4.87	6.06	5.96	

※年加重平均 pH 4.81 年間降雨量 2564 mm

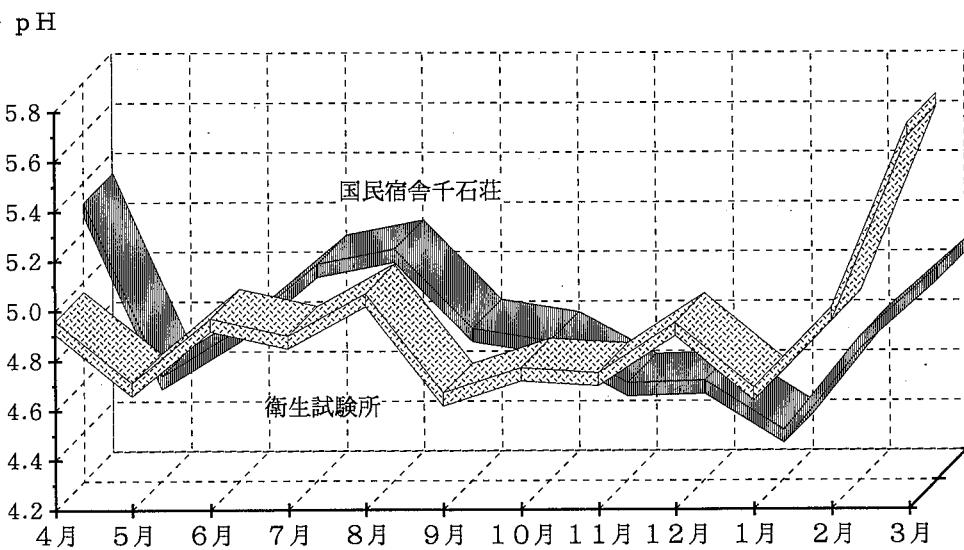


図 1 pH 月別加重平均値のグラフ

### (3) イオン成分の特徴

#### ① pH

'93. 4/1, 4/3, 4/4, 4/8, 4/14, 5/11, '94. 2/21, 3/4, 3/13, 3/17, 3/19, 3/23 に福岡市で黄砂 ( $\text{Ca}^{2+}$  の高い砂塵) の飛来が観測された。衛生試験所および千石荘 '93. 4/5～4/12, '94. 2/28～3/7 の週 (表 1, 2) の  $\text{Ca}^{2+}$  量が増え, pH が 6 以上と高く黄砂の影響が確認された。

## ② 海塩成分

夏季のイオン成分の降下量の特徴として、台風の風による海塩の影響で $\text{Na}^+$ ,  $\text{Cl}^-$ が高く、冬季においては、季節風の影響のため $\text{Na}^+$ ,  $\text{Cl}^-$ が高い傾向にある。

また、衛生試験所イオン成分降下量（表3）および千石莊イオン成分降下量（表4）を比較すると、年総降下量 $\text{Na}^+$ ,  $\text{Cl}^-$ は、都市部より山間部の方が多く、今後検討する必要がある。

## ③ 都市汚染の指標

季節別イオン成分降下量の $\text{NH}_4^+$ ,  $\text{NO}_3^-$ ,  $\text{SO}_4^{2-}$ において、降水に占めるこれらの成分は、都市部は高く、山間部は低い傾向にあり、汚染の指標になるものと思われる（図2）。

図3-1～4および図4-1～4にそれぞれの季節別イオン成分降下量の組成を示した。

## 3 おわりに

現在、実施している調査を継続していくことは当然のことであるが、酸性雨発生の原因物質については、国内の人為的発生源や自然からの酸性物質、あるいは大陸からの酸性物質の長距離輸送によって寄与している可能性は否定できない。よって、降水酸性化とこれらの発生源寄与率についても調査・検討を行う必要がある。

表3 衛生試験所 イオン成分降下量（総 meq/m<sup>2</sup>）

季節	開始月日	終了月日	雨量	EC	$\text{H}^+$	$\text{Na}^+$	$\text{NH}_4^+$	$\text{K}^+$	$\text{Ca}^{2+}$	$\text{Mg}^{2+}$	$\text{Cl}^-$	$\text{NO}_3^-$	$\text{SO}_4^{2-}$
春季	93 3 29	93 6 28	463.2	5.4	5.92	8.18	8.18	1.09	7.25	2.39	12.89	5.02	14.54
夏季	93 6 28	93 9 27	996.1	11.1	12.49	17.04	14.63	1.82	13.06	5.22	24.15	8.29	23.33
秋季	93 9 27	93 12 27	295.8	4.9	3.00	10.82	6.74	0.49	5.97	2.71	14.20	4.42	11.04
冬季	93 12 27	94 3 28	214.5	7.2	2.32	24.02	10.97	0.89	10.16	7.37	35.70	5.68	16.18
年	93 3 29	94 3 28	1970.0	28.6	23.73	60.06	40.52	4.29	36.44	17.69	86.94	23.41	65.09

表4 千石莊 イオン成分降下量（総 meq/m<sup>2</sup>）

季節	開始月日	終了月日	雨量	EC	$\text{H}^+$	$\text{Na}^+$	$\text{NH}_4^+$	$\text{K}^+$	$\text{Ca}^{2+}$	$\text{Mg}^{2+}$	$\text{Cl}^-$	$\text{NO}_3^-$	$\text{SO}_4^{2-}$
春季	93 3 29	93 6 28	522.5	5.9	9.36	8.50	5.50	1.22	5.71	2.87	12.49	1.54	11.69
夏季	93 6 28	93 9 27	1301.1	13.6	12.56	39.56	5.15	1.73	6.93	12.12	56.64	4.89	18.04
秋季	93 9 27	93 12 27	407.9	6.0	7.22	13.11	2.50	1.17	4.78	3.67	17.78	4.86	10.57
冬季	93 12 27	94 3 28	332.4	9.3	6.88	31.13	3.72	1.39	12.27	9.28	44.56	6.26	17.56
年	93 3 29	94 3 28	2563.9	34.8	36.02	92.30	16.87	5.51	29.69	27.94	131.47	17.55	57.86

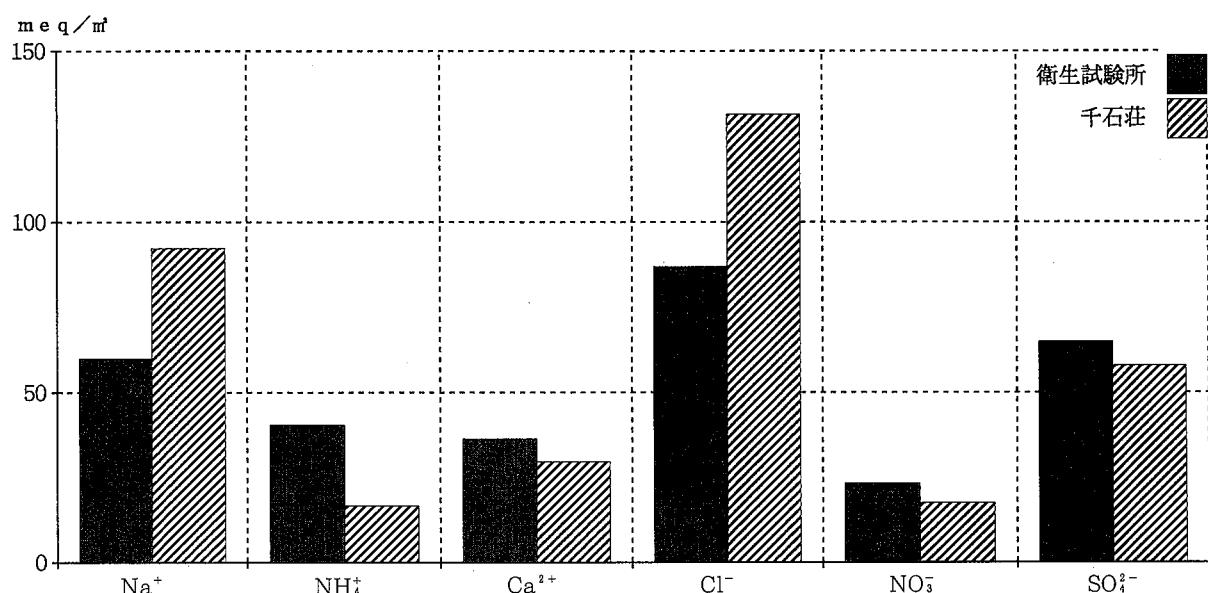


図2 年間降下量のグラフ

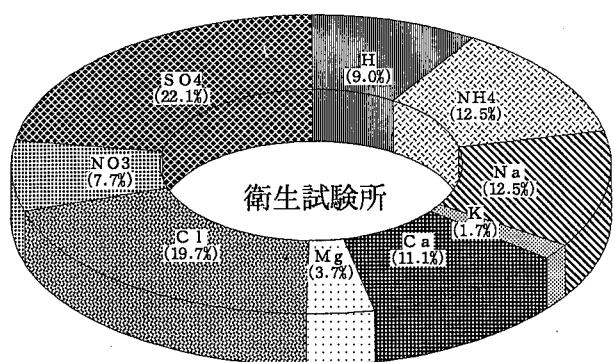


図3-1 春季イオン成分降下量

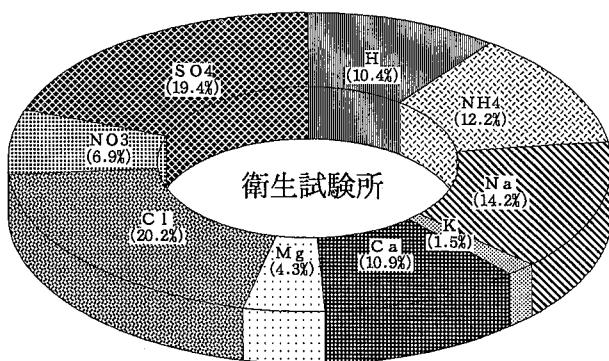


図3-2 夏季イオン成分降下量

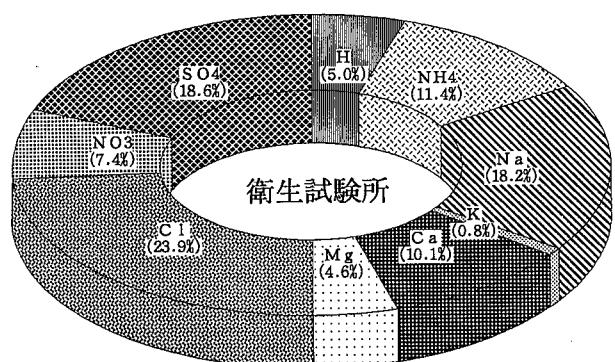


図3-3 秋季イオン成分降下量

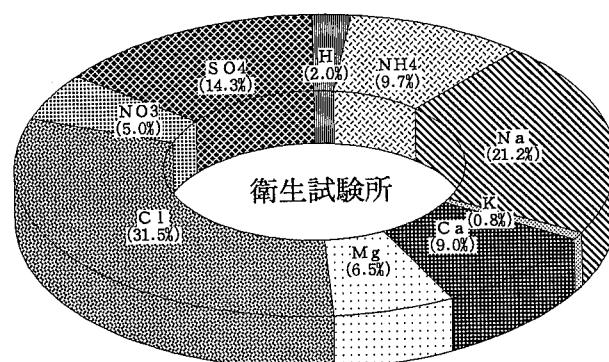


図3-4 冬季イオン成分降下量

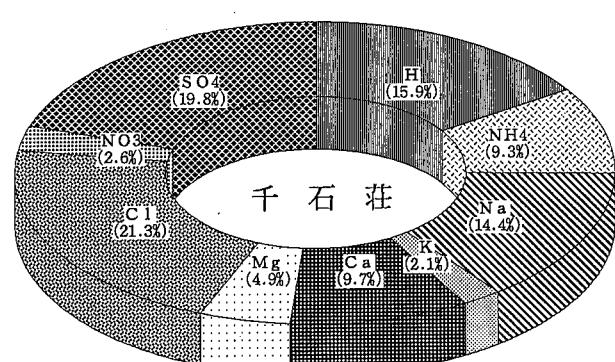


図4-1 春季イオン成分降下量

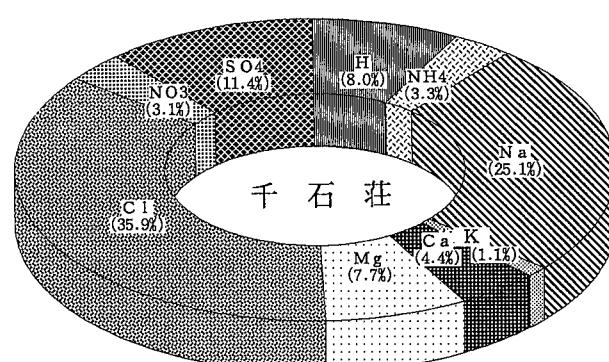


図4-2 夏季イオン成分降下量

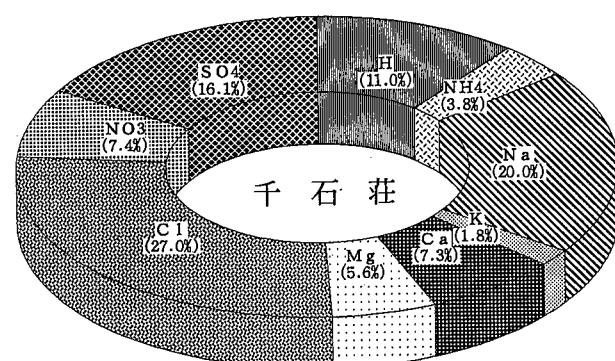


図4-3 秋季イオン成分降下量

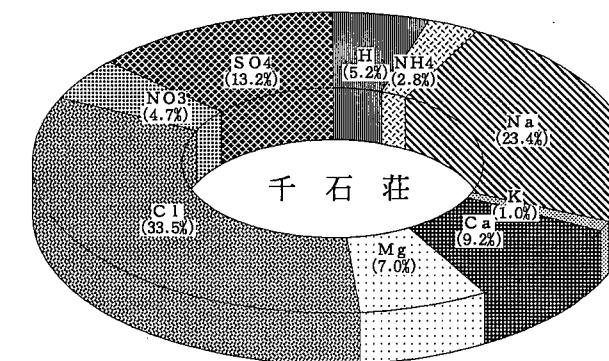


図4-4 冬季イオン成分降下量